



11月度 定例活動/他

11月度 理事会

日時:11月25日(土曜日) 10時～

場所:文化研修センター

◆英会話教室 ネイティブとしゃべってみましょう!

☆鴨島教室 毎週木曜日19:00～21:00

初心者クラス・中級者クラス

講師:ミシェルさん・ヌーさん(新ALT)
文化研修センター2F.

担当:後藤田さん ☎ 24-5234

☆山川教室 毎週火曜日19:00～21:00

初心者クラス19:00～19:30

山川公民館 講師:タマラさん

担当:長井さん ☎ 42-4839

☆川島教室 毎週水曜日19:00～21:00

初心者クラス19:00～20:00

川島東公民館、講師:ジョンさん

担当:井口さん ☎ 24-5365

◆日本語教室

【村上教室】 ☎ 24-8018

＜鴨島 文化研修センター＞

毎週日曜日 13:30～15:30(初級日本語講習)

講師:村上さん、萩森さん、白岡さん、井口さん、市原さん

毎週金曜日 17:00～19:00 中級(N2レベル)

19:00～21:00(職業日本語講習)

【手塚教室】 ☎ 24-1284

＜市場町コミュニティセンター＞

毎週日曜日 10:00～12:00

＜高川原公民館＞

毎週日曜日 13:30～15:30

◆日本文化体験(随時)

ぞめき&長唄 弾きま専科(三味線の指導など)
わさよし

講師:松永 和 三喜美さん(乾Tel:0883-24-1254)

【10月の活動報告】

◆ 英会話ハロウィンパーティー 2017 花待 美菜子

10月31日、ハロウィン当日に恒例の英会話教室合同のハロウィンパーティーを開催しました。川島公民館へ集まり、各自料理を持寄るポットラックスタイルで行いました。各教室で出し物を企画し、各クラスの授業で準備、練習を行い発表しました。

鴨島教室は昨年に続き紙芝居「ヘーゼルとナッツ」の続編のシナリオを西篠さんが作成、クラスのみんなで英訳し、二人の先生にまとめて頂きました。

山川教室は「Monster Mash」という歌を英語で歌い、Michael Jacksonの「Thriller(スリラー)」をミュージックに合わせて踊りました。

アンコールで他のクラスの方達も参加し、スリラーダンスを楽しみました。



川島教室はハロウィンに関するクイズゲーム。4チームに分かれ、川島クラスのメンバーが3つのヒントを英語で出し、答えるというゲームです。1つ目のヒントで正解すれば高得点がもらえ、最後に合計点が高いチームが優勝でした。楽しいゲームであつという間に時間が過ぎました。

鴨島教室の新ALTのNou(ヌー)先生はモン族の衣装を、川島高校の新ALT



クイズゲーム

の Payton先生はネイティブアメリカンの衣装を着て参加してくれました。

いろいろな文化に触れあえたパーティーでした。



スリラーダンス



全員で記念写真

■ 和紙会館でのArtist in Residenceがスタート

横山美津子

和紙会館でのArtist in Residence が今年も始まった。国内外からアーティストを一定期間招聘し滞在中の活動を支援する事業で、今年はアメリカから2人、フランスから1人、神奈川県から1人の4人が来ている。10/25にアメニティで歓迎会が開かれ、地元の人など滞在中サポートする人、会館の職員などが集まった。今回のアーティストは権威のある機関から選ばれているらしくその完成作品は期待ができそうだ。(11/25～12/5展覧会)

このプログラムのおかげで我々が芸術に触れられるのは当然のメリットであるが、彼らと滞在中にコミュニケーションが取れて国際交流が育まれる利点もある。彼らが帰国する時には、必ず日本のファンとなって帰るのを見るときも、なんだか胸が熱くなる。



◆ 上浦小学校での国際理解学習に参加 真鍋佳子

10月26日(木)に上浦小学校で行われた国際理解学習の授業に参加しました。学習の目的は地域に住む外国人との交流を通じて言語や文化の違いを感じつつお互いに理解しあおうとする開かれた心を持たせることです。講師は中国新疆ウイグル自治区出身のシリフグリ・キラム(女性)さんと従姉妹のマルババ・マルケ(女性)さんです。キラムさんは13年前に徳島大学工学部に留学して来られ現在レストランの経営者、マルケさんは現在徳島大学工学部の留学生だそうです。対象児童は1～4年生(31名)、5～6年生(35名)で野口校長先生をはじめ担任の先生方他、YIAからは後藤田、浅野、筑木、真鍋が参加しました。まず前半1～4年生の授業ではウイグル自治区とトルファン市出身の両講師の出身国の位置、面積や人口、気候、食物、挨拶のことばなどをスライドで紹介しました。後半の5～6年生対象の授業では前半の授業に加えて、13才よりスカーフ(女性)を被り1日5回お祈りをする事、豚肉を除いたハラール料理であることなど、イスラム教について理解を深める学習内容でした。

最後の民族衣装の両講師が民族舞踊を披露され教室には一段と活気がみなぎりました。「両親に感謝しつつ夢をもって努力して行ってほしい。」との言葉は児童達を勇気づけさらに自らの文化と言語の違いに興味を持った児童らのキラキラした瞳を見て、今回の異文化体験は将来、国際理解に役立ってくれるだろうと思いました。



ハイリホシュ(さようなら)

◆ 「北歐旅行記」

歳本陽司(山川町)

『絶景フィヨルドとバルト海クルーズ北欧8日間』のツアーで10月3日からノルウェー、スウェーデン、フィンランドに行ってきた。季節は日本より1か月進んだ気候で晩秋を思わせる肌寒い気温でした。3か国とも町並み、景色、建物全部ひじょうに美しいです。とくに木々が晩秋で黄葉して町並みともマッチし小学校の音楽の教科書に出てくるようなクラシックの世界そのものでした。また何万年も前に氷河が大地を削って出来たと言われるフィヨルドもまわりの山々にも溶け込んで神秘的でした。そこをクルーズ船でゆったりとまわるのですから時間のたつのも忘れるほどでした。ノルウェーのフロム



鉄道では徳島の大歩危峡を10倍ぐらいにした山々の山肌を列車が走ります。カーブでは列車の後部が曲線で見えて旅番組のひとつまを見ていたようでした。

またオスロの国立美術館へ行きました。有名なムンクの



「叫び」を観賞したのですが120億円で落札し盗難にもあった作品なのにフラッシュを炊かなければ写真撮影OK、警備も建物の入口に警備員が数名、持ち物検査もありません。なんとおおらかな国だろうと思いました。

スウェーデンではノーベル賞授賞式会場晩餐会が行われる市庁舎にも行ったのですが以外と1300人も入るのにテレビで見ると違って狭い処だなと思いました。しかし造りは市庁舎にしては立派で大理石で壁画もすごいものでした。観光以外では3国ともみなさんもご存じのとおり福祉の非常に充実した国です。医療費、教育費(大学までの授業料も)は無料、びっくりしたのは相続税もいりません。しかしそこにはからくりがあります。しかし税金が非常に高いです。消費税25%～30%、所得税も高いです。たばこ1200円ビール生中1500円等、ガソリンに至ってはリッターあたり200円以上(税率70%)します。

以上が今回の旅行の感想ですが3国とも治安もいし街も清潔だし、ああ言語はそれぞれ違いますが私のような片言英語でも通用します。ぜひ行ってみたいは如何でしょうか。おすすめです



ご意見・情報などをお寄せください。

広報部長 長井まで(TEL090-1575-8634)

e-メール; yoshino_kokusai@yahoo.co.jp